

平成 30 年度群馬県児童生徒の食生活等実態調査結果概要

群馬県教育委員会健康体育課

1 調査の目的

本調査は平成 15 年度から 5 年毎に実施し、本県の児童生徒の食に関する状況を把握し、実態に即した指導を行うための資料を得てきた。これまでの調査で明らかになった「朝食欠食」「野菜嫌い」「不適切な間食摂取」等の課題の解消に向けた取組を、調査結果に基づき児童生徒の変容から評価し、今後の方針を明らかにする。

2 調査期間

平成 30 年 7 月

3 調査対象

小学校 5 年生 981 人：地域性を考慮し協力依頼・選定した、公立小学校 19 校の児童
中学校 2 年生 991 人：地域性を考慮し協力依頼・選定した、公立中学校 12 校の生徒

4 調査項目

- (1) 食に関する意識・知識（栄養、旬等）
- (2) 食生活の実態（食事状況、間食、偏食等）
- (3) 日常生活の実態（食にかかわる手伝い、睡眠、運動の状況等）
- (4) 学校給食に関する意識
- (5) 健康状況

5 調査方法

児童生徒による選択式アンケート

6 調査結果の概要

平成 25 年度と平成 30 年度の調査結果を比較し、有意差検定を行った結果、児童生徒の食生活等の変化状況は【表 1】のとおりである。

7 今後の対応

- (1) 調査結果より、小学生、中学生ともに食について学習する機会が増え、学んだ知識や技能を活かして生活を改善している様子が見られる一方、朝食摂取や共食の状況には課題が見られる。今後の学校における食育の方向性は、これまでの基本的なあり方である「みんなが楽しくコミュニケーションを図りながら食事をする」を踏襲しつつ、学校・家庭・地域が連携かつ継続して食育の取組を推進していくこととする。
- (2) 調査結果は、市町村教育委員会に周知し、群馬県総合教育センターweb ページに掲載する。

【表1】調査結果の概要

記号の説明 ○印：向上している ▼印：低下している - 印：有意差がみられない

指針	質問事項		小学校5年生			中学校2年生		
			H25	H30		H25	H30	
食事はコミュニケーションの場	食事で気をつけていること	楽しく食べる	76.8	75.0	-	73.4	70.9	-
	食事のあいさつ	いつもする	78.5	76.1	-	71.2	71.9	-
	共食の状況	朝食を家族そろって食べる	29.1	23.9	▼	20.9	19.1	-
		夕食を家族そろって食べる	56.5	54.8	-	59.9	56.8	-
	食事の協同体験	テーブルの準備	67.6	65.1	-	58.4	58.7	-
		後かたづけ	68.1	62.2	▼	66.9	66.3	-
	食事が楽しいと感じるとき	家族そろって食べる時	37.4	44.9	○	26.3	31.3	○
学校給食への思い	みんな(友達や先生)と一緒に食べられる	60.7	58.4	-	51.0	57.8	○	
食に関する知識・技能の習得と実践化	食育指導の状況	ある	67.4	78.3	○	67.4	74.2	○
	食事で気をつけていること	3回の食事は必ず食べる	87.8	84.9	-	87.4	83.8	▼
		栄養のバランスを考えて食べる	38.4	43.4	○	38.7	43.5	○
	食に関する知識	食品の主な働き(正答率)	69.1	67.9	-	80.9	79.8	-
	食品への関心	生産地や旬を考える	49.7	51.9	-	45.1	50.4	○
		栄養成分表示を参考にする	44.8	42.0	-	45.3	37.3	▼
	好ききらいの有無	何でも食べる	24.1	23.9	-	29.1	30.4	-
	調理技能の習得	米飯を炊ける	72.8	72.5	-	82.9	85.4	-
みそ汁を作れる		52.3	50.9	-	77.4	75.7	-	
ダイエット経験	やせたいと思って実行したことがある	26.3	26.2	-	25.6	25.9	-	
健康的な生活習慣の形成	朝食	必ず食べる	89.9	89.2	-	88.7	85.6	▼
	間食	ほとんど毎日食べる	49.2	48.6	-	44.7	41.2	-
	夜食	ほとんど毎日食べる	13.7	14.2	-	18.9	12.7	○
	体育の授業以外での運動状況	週に3回以上	46.4	56.8	○	78.9	76.0	-
	普段の就寝時刻	午前0時前(小学生は11時前)	85.3	83.3	-	78.9	77.0	-
	睡眠による休養	とれている	79.2	75.7	▼	61.8	61.0	-